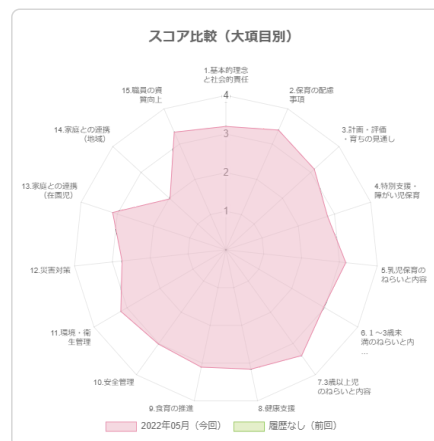
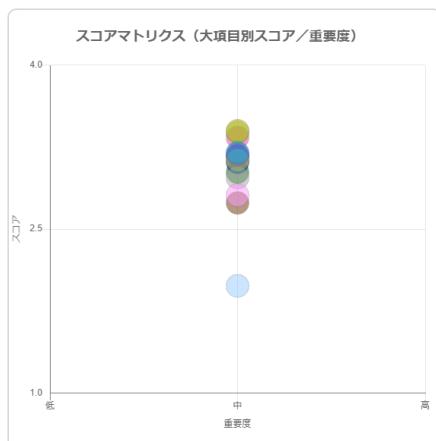


スコアレポート 集計単位：全体 自己評価実施人数：10人



まとめ 大項目ごとのスコアランキング

ランク	項目	スコア	重要度	小項目の表示
1	2.保育の配慮事項	3.40	中	表示
2	7.3歳以上児のねらいと内容	3.39	中	表示
3	15.職員の資質向上	3.34	中	表示
4	1.基本的理念と社会的責任	3.20	中	表示
5	11.環境・衛生管理	3.19	中	表示
6	5.乳児保育のねらいと内容	3.17	中	表示
7	8.健康支援	3.16	中	表示
8	13.家庭との連携（在園児）	3.13	中	表示
9	3.計画・評価・育ちの見通し	3.13	中	表示
10	9.食育の推進	3.11	中	表示
11	10.安全管理	3.02	中	表示
12	6.1～3歳未満のねらいと内容	2.97	中	表示
13	4.特別支援・障がい児保育	2.81	中	表示
14	12.災害対策	2.74	中	表示
15	14.家庭との連携（地域）	1.98	中	表示

【2.保育の配慮事項】の面では、各自が理想に近い形で実践できた実感があるようです。園全体の様子を振り返った際、職員たちと同様に「理想に近い状態で実践できた」と感じられるようであれば、園として目指している目標と、職員の考えている理想のイメージが共有できており、とても良い状態であると言えます。各職員に対しては出来る範囲でフィードバックの時間をとり、出来ていた点をいくつか具体的に挙げながら、現状の維持、そして今後のさらなる向上に向けてモチベーションを保つ時間がとれると良いでしょう。しかし、もしも、園全体を振り返ってみると、園全体としては実現度合いが低かった、職員の振り返り結果との間に差異を感じる、という場合には、園の目標と、各職員のイメージがズレている可能性が高いです。一度、各職員とコミュニケーションの機会をとり、目標の再確認をした上で、具体的な行動を示しながら「園として求める姿」を共有していく時間を持つことをおすすめします。

一方で【14.家庭との連携（地域）】の面では、実践が難しい、もしくは実践できていないと感じる職員が多い傾向にあるため各職員とのコミュニケーションをとる際に、【14.家庭との連携（地域）】の中で、具体的に難しさ・やりづらさを感じる点があるかを確認しながら一緒に解決策を考えていく時間がとれると良いでしょう。また、もしも、園全体を振り返った時に【14.家庭との連携（地域）】が、他の項目に比べて実践レベルが高いようであれば、同時に「園の求めるレベルに達していること」をフィードバックしながら、「誉める・認める・感謝する」言葉をしっかりと伝えることがおすすめです。